

3) テッダー・レーキ

(1) 用 途

モアー・コンディショナーに加えて、更に牧草の乾燥を促進するために、牧草を反転、かく拌・拡散するのに使用する。

(2) 構 造

ヘイ・テッダーは、刈り倒された牧草を反転・かく拌して風通しをよくして乾燥を促進させるための転草作業を主目的にしたもの、ヘイ・レーキは、逆に後作業に便利なように拡散している牧草を集めて集草列を作ることを主目的にしたものである。テッダー・レーキはその両者の機能を持つ転草・集草兼用機である。

構造により、回転輪型、ロータリー型、ベルト/チェーン型、シリンダー型がある。回転輪型は、フェンガー・ホイール型とも呼ばれ、円板にタイン(スプリング爪)を多数放射状に取り付け、進行方向に一定の角度で走行させると回転輪は自転しながら牧草を反転しながら集草するもの。ロータリー型は、縦軸回転型、ジャイロ型とも呼ばれ、タインの付ついたローターが縦軸回りに高速回転するもので、テッダー又はレーキ専用機と兼用機がある。ベルト/チェーン型は、回転するベルトやチェーンに多くのタインを取付けたもので、進行方向に直角に牧草を放てきさせて集草や拡散を行うものである。シリンダー型は、多数のタインを取付けた3~6本のバーが円筒状になって回転するもので、直円筒型と斜め円筒型がある。

(3) 取扱い上の留意点

各タイプごとに特徴があるので、牧草の種類などの応じて適切な機種を選定する必要がある。また、タインの損傷などに留意する必要がある。

(4) 安全作業のポイント

トラクターと本機両者の取扱説明書や安全ラベルを良く読み理解する。

P T O軸や可動部のカバーは常に所定の位

置に付けておく。

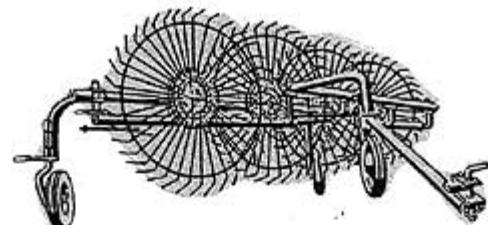
点検・調整・修理は、必ずトラクターのエンジンを止めてから行う。

着脱時には作業機との間の挟まれや押し潰されに注意する。

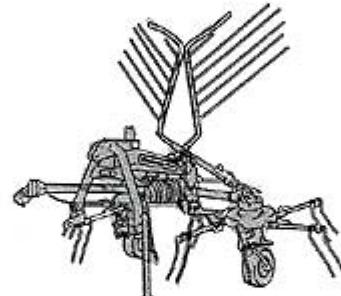
始動、発進、後進時には必ず周囲に人がいないことを確認する。

移動時には他車との追突や接触に注意する(予防対策として反射材などを活用する)。

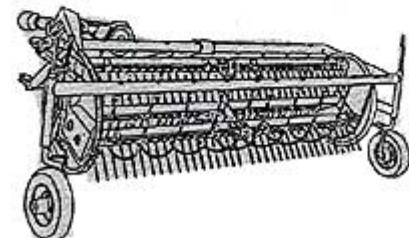
補助者を含めてP T O軸やタインなどへの巻込まれや接触、石等の飛散物に注意する。



回転輪型



ロータリー型



シリンダー型(直円筒型)